



# THE BODY

## — 身体の宇宙 —

2019年 4月20日 [土] ↓ 6月23日 [日]

前期 4月20日ー5月19日 後期 5月21日ー6月23日 月曜日休館

※4月29日、5月6日(月祝)開館、5月7日(火)休館、平日10時ー17時/土・日・祝日10時ー17時30分 ※入場は開館30分前まで  
観覧料 一般800(600)円/大学・高校生と65歳以上400(300)円  
※中学生以下は無料 ※( )内は20名以上の団体料金 ※4月20日(展覧会初日)は入場無料  
※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額  
主催 町田市立国際版画美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会  
協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

 町田市立国際版画美術館

古くから人の身体は様々なまなざしで見つめられてきました。  
理想を求める美術、仕組みを明らかにする解剖学、  
そして天体とのつながりを見いだす占星術など、  
私たちの感性と知性と想像力はじつに多彩な身体のイメージを生み出してきたのです。  
本展では15世紀の西洋の古版画から現代日本の美術家の作品まで、  
約140点から小宇宙ともいべき身体の世界を紹介します。

1. ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ『ローマの古代遺跡』より 1756年刊 エッチング
2. グレゴール・ライシュ著『哲学の真珠・新版』より 1508年刊 木版
3. ジャック＝ファビアン・コーティエ＝ダゴティ『人体構造解剖図集』より 1759年刊 メゾチント(多色)・手彩色
4. アルブレヒト・デューラー《ネメシス》1502年頃 エングレーヴィング
5. 《キリストの聖心と受難のシンボル》16世紀初頭 木版・手彩色
6. 柄澤齊《The Vertebral Column》1990年 リーヴル・オブジェ 彩鳳堂画廊蔵
7. 池田俊彦《編》2006年 エッチング、アクアチント、ドライポイント
8. 大垣美穂子《Milky Way-Threshold #01》2017年 FRP他 作家蔵

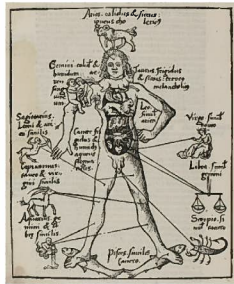
表：ヘンドリク・ホルツィウス《ファルネーゼのヘラクレス》(部分) 1592年頃 エングレーヴィング

※所蔵先表記の無いものは町田市立国際版画美術館蔵

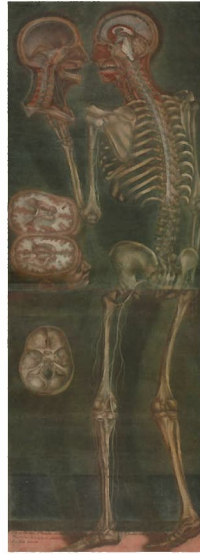
※前・後期で一部の展示替えと、書籍のページ替えをおこないます。



1



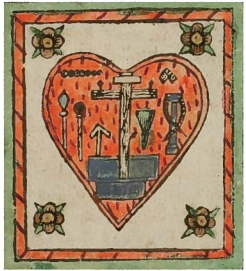
2



3



4



5



6



7



8

## 関連イベント

### スライドトーク—美術館／学芸員の解剖—

美術館の裏側や学芸員の仕事を解説。所蔵品の特別観覧もおこないます。

講師：藤村拓也(本展担当学芸員)

日時：5月11日(土) 14:00～15:30 会場：講堂

※先着70名(申込不要) ※参加無料。ただし本展観覧券が必要です(半券可)。

### 学芸員によるギャラリートーク

日時：5月25日、6月8日(土) 各日14:00から45分程度

※観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室入口にお集まりください。

### 複製浮世絵版木・摺り体験

当館所有の複製浮世絵版木から、本展にあわせ躍動感あふれる作品を選びました。

日時：5月4日(土)、6月9日(日) ①11:00 ②13:30 ③15:00

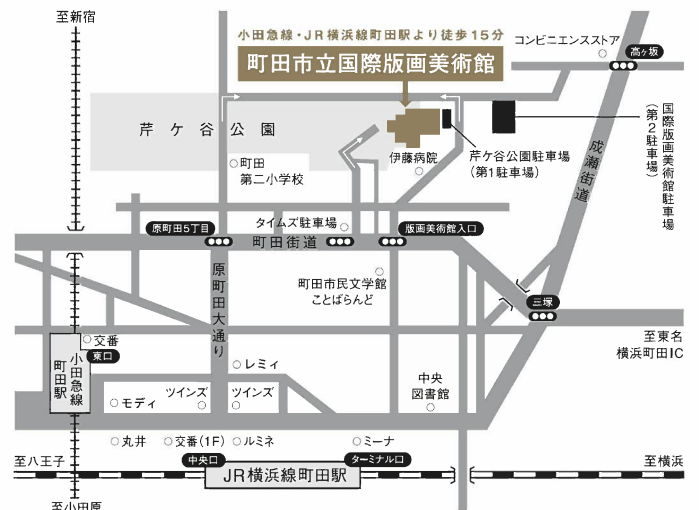
※参加方法等の詳細は当館ホームページをご覧ください。

追加イベントは当館ホームページ(<http://hanga-museum.jp/>)に随時掲載し、twitter([@machida\\_hanbi](https://twitter.com/machida_hanbi))で発信していきます。お楽しみに!

## 同時開催

### 彫刻刀で刻む社会と暮らし—戦後版画運動の広がり

4月10日(水)～6月23日(日) 常設展示室 入場無料



## 町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

TEL: 042-726-2771 / 0860

▶ <http://hanga-museum.jp/>

▶ [@machida\\_hanbi](https://twitter.com/machida_hanbi)

お問い合わせ：町田市役所代表電話 042-722-3111

版画の宇宙で

